

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	900	施策	その他
管理事業	選挙管理委員会事業	所管部局	選挙管理委員会事務局

1	所管 室課	選挙管理委員会事務局	事業名	選挙管理委員会運営事業	
事業概要					
選挙管理委員会運営					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
(1) 選挙管理委員会の開催 地方自治法第181条に基づき設置されている選挙管理委員会を月に1度招集し、開催した。		決算額（千円）	11,905	13,790	
(2) 選挙人名簿の調製 住民基本台帳に基づき、登録資格を有する者を選挙管理委員会の議決を経て、年4回の定時登録及び選挙時登録にて選挙人名簿へ登録する。また、選挙人名簿登録者が抹消事項に該当する場合には、選挙管理委員会の議決を経て、随時名簿より抹消する。 令和3年度登録者数…21,606人 令和3年度抹消者数…18,765人 令和4年3月時点での名簿登録者数…311,532人		一般財源の比率（％）	99.4	99.2	事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題 今後の実施計画 の方向性・内容
(3) 在外選挙人名簿の調製 登録資格を有する者からの在外選挙人名簿への登録申請を受け、選挙管理委員会での議決を経て、随時在外選挙人名簿へ登録する。また、在外選挙人名簿の登録者が抹消事項に該当する場合には、選挙管理委員会での議決を経て、随時名簿より抹消する。 令和3年度登録者数…35人 令和3年度抹消数…22人 令和4年3月時点での登録者数…318人					
					継続

2	所管 室課	選挙管理委員会事務局	事業名	選挙常時啓発事業	
事業概要					
選挙常時啓発					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点 ※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
(1) 新有権者メッセージカード送付件数 選挙権を得たことや投票の方法などをわかりやすく伝えることを目的として、有権者となった、または、これから満18歳となる吹田市民にメッセージカードを送付している。 令和3年度…3,386通		決算額（千円）	483	398	
(2) 吹田市明るい選挙推進協議会機関紙『白ばらすいた』の発行 市民に明るくきれいな選挙と明るい選挙推進協議会の活動をPRするために機関紙を発行している。自治会を通じて地域での掲示等を行い、吹田市内のイオン2店舗の広報スペースに配架するなどした。 機関紙『白ばらすいた』の発行部数 令和3年度…15,000部		一般財源の比率（％）	100.0	100.0	継続 引き続き効果的な啓発活動が行えるよう支援及び協働する。
(3) 明るい選挙啓発ポスターコンクールの開催 吹田市明るい選挙推進協議会と協働で吹田市内の小中学校に通う児童・生徒から明るい選挙を呼びかけるポスターを募集し、コンクールを開催した。 応募作品数 令和3年度…529点（小学生の部：450点、中学生の部：79点）		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 新有権者メッセージカードの送付や令和元年度の参議院議員通常選挙で実施した市内在住の大学生の期日前投票所の投票立会人への選任など、若年層を対象にした啓発活動を重点的に実施している。今後も、吹田市明るい選挙推進協議会へ支援をすることにも、協働でより効果的な啓発事業に取り組めるよう努めていく必要がある。			

3	所管 室課	選挙管理委員会事務局	事業名	衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行事業	
事業概要					
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行					
活動実績		年度	R2	R3	評価の視点
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行した。		決算額（千円）	0	113.025	※課題があるものは■
		一般財源の比率（％）	0.0	2.8	☐ 市民ニーズ、社会的役割
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		☐ 有効性	
		自書式投票用紙読取分類機などの各種備品の活用や、事務従事者の人員配置等の執行計画を見直すことにより、時間の短縮を図る必要がある。	☒ 効率性		
			☐ 公平性		
				☐ 持続可能性	
				今後の実施計画の方向性・内容	
				継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名